

安全データシート

1. 製品及び会社情報

- ・製 品 名 : 尿用コントロール 30mL×2 本入(コントロール 1, 2)
- ・製 品 コ ー ド : 213313
- ・供 給 者 の 会 社 名 称 : 株式会社エイアンドティー
〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤 2023 番地 1
電話番号 0466-86-8660
- ・問 い 合 わ せ 先 : 株式会社エイアンドティー カスタマーサポートセンター
〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤 2023 番地 1
電話番号 0120-487-030
- ・推 奨 用 途 : イオン選択性分析装置の測定値の信頼性を確認するための精度管理用試薬
- ・使 用 上 の 制 限 : 所定用途以外に使用しないこと

2. 危険有害性の要約

特定の危険有害性
特になし

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル : 該当なし
注意喚起語 : 該当なし
危険有害性情報 : 該当なし

注意書き 【安全対策】 : 該当なし
【応急措置】 : 該当なし
【保管】 : 該当なし
【廃棄】 : 該当なし

国/地域情報 : 情報なし

3. 組成及び成分情報

- ・化学物質・混合物の区別 : 混合物
- ・製品名 : 尿用コントロール 30mL×2 本入 (コントロール 1, 2)
- ・別名 : 尿用コントロール 30ml*2
- ・内容物 : 30mL×2 本
- ・成分及び含有量
ホルムアルデヒド : 0.1 w/w% 未満
 - ・化学物質を特定できる一般的な番号 : CAS 番号 50-00-0
 - ・官報公示整理番号 : 化審法化学物質 2-482

4. 応急措置

- ・吸入した場合 : 呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。
- ・皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。
- ・眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
- ・飲み込んだ場合 : 口の中を洗浄し、多量の水を飲み、医師の診断/手当てを受けること。
- ・予想される急性症状及び遅発性症状
急性症状 : 吸入 : データなし
眼 : データなし
経口摂取 : データなし
遅発性症状 : データなし
- ・最も重要な兆候及び症状 : データなし

5. 火災時の措置

- ・適切な消火剤 : 製品としては、水溶液のためほとんど燃えないが、ホルムアルデヒドの消火剤として、粉末消火剤、二酸化炭素、散水がある。
- ・使ってはならない消火剤 : データなし
- ・火災時の特有の危険有害性 : 火災時に刺激性もしくは毒性のガス及び煙を発生する恐れがある。

- ・特有の消火方法 : 消火活動は風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。
- ・消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 空気呼吸器など適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- ・人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業者は適切な保護具(8. ばく露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
換気をよくして、蒸気の吸入を避ける。
- ・環境に対する注意事項 : 河川等に排出されないように注意する。
- ・回収、中和 : 漏洩した製品を布切れに吸収させて、密閉できる容器に回収する。
汚染された廃棄物の処理にあたっては、該当する法規、条例、規定等に従って適切に処理すること。
- ・封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 危険でなければ漏れを止める。

7. 取扱い及び保管上の注意

- ・取扱い
技術的対策 : 作業者は適切な保護具(8. ばく露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
- 安全取扱注意事項 : 換気の良い区域で使用すること。
液の漏洩は防止する。
接触、吸入又は飲み込まないこと。
取扱い後は、手を洗うこと。
- 接触回避 : (10. 安定性及び反応性の項を参照)
- 衛生対策 : 取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・保管
安全な保管条件 : 2～10℃で、容器を密閉して保管すること。
- 安全な容器包装材料 : 包装、容器の規制はないが、密閉式の破損しないものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

- ・許容濃度等 : データなし
- ・設備対策 : 特別な換気要求事項はない。
- ・保護具
呼吸器の保護具 : 換気が十分でない場合には、有機ガス用防毒マスクを着用すること。
- 手の保護具 : 不浸透性保護手袋を着用すること。
- 眼の保護具 : 側板付保護眼鏡又はゴーグル型保護眼鏡を着用すること。
- 皮膚及び身体の保護具 : 長袖保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

- ・物理状態 : 液体
- ・色 : 無色透明
- ・臭い : データなし
- ・融点/凝固点 : データなし
- ・沸点又は初留点及び沸点範囲 : データなし
- ・可燃性 : データなし
- ・爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : データなし
- ・引火点 : データなし
- ・自然発火点 : データなし
- ・分解温度 : データなし
- ・pH : データなし
- ・動粘性率 : データなし
- ・溶解度 : 水と自由に混和する
- ・n-オクタノール/水分配係数(log 値) : データなし
- ・蒸気圧 : データなし
- ・密度及び/又は相対密度 : データなし
- ・相対ガス密度 : データなし
- ・粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

- ・反応性 : データなし
- ・化学的安定性 : 通常の保管状態で安定である。
- ・危険有害反応可能性 : データなし
- ・避けるべき条件 : 加熱昇温
- ・混触危険物質 : データなし
- ・危険有害な分解生成物 : データなし

1.1. 有害性情報

・急性毒性

	含有量 (%)	急性毒性 (経口)	急性毒性 (経皮)	急性毒性 (吸入:気体)	急性毒性 (吸入:蒸気)	急性毒性 (吸入:粉じん、 ミスト)
ホルムアルデヒド	0.1 w/w% 未満	区分 4 (605 mg/kg)	区分 3 (270 mg/kg)	区分 2 (480 ppm)	分類できない	分類できない

急性毒性 (経口) : 別表の区分の急性毒性 (経口) の物質を含む。
これより、混合物の急性毒性 (経口) 推定値 ATE_{mix} > 100,000 mg/kg が算出される。
(JIS 分類による)

急性毒性 (経皮) : 別表の区分の急性毒性 (経皮) の物質を含む。
これより、混合物の急性毒性 (経皮) 推定値 ATE_{mix} > 100,000 mg/kg が算出される。
(JIS 分類による)

・皮膚腐食性/刺激性

混合物として急性毒性 (経皮) は区分に該当しない。
: 以下の区分の皮膚刺激性の物質を含む。
区分 2 ; ホルムアルデヒド (0.1 w/w%未満)
混合物として皮膚腐食性/刺激性は区分に該当しない。

・眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 以下の区分の眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性の物質を含む。
区分 2 ; ホルムアルデヒド (0.1 w/w%未満)
混合物として眼に対する重篤な損傷性/刺激性は区分に該当しない。

・呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性 : 以下の区分の呼吸器感作性の物質を含む。
区分 1 ; ホルムアルデヒド (0.1 w/w%未満)
混合物として呼吸器感作性は区分に該当しない。

皮膚感作性 : 以下の区分の皮膚感作性の物質を含む。
区分 1 ; ホルムアルデヒド (0.1 w/w%未満)
混合物として皮膚感作性は区分に該当しない。

・生殖細胞変異原性

: 以下の区分の生殖細胞変異原性の物質を含む。
区分 2 ; ホルムアルデヒド (0.1 w/w%未満)
混合物として生殖細胞変異原性は区分に該当しない。

・発がん性

: 以下の区分の発がん性の物質を含む。
区分 1 A ; ホルムアルデヒド (0.1 w/w%未満)
混合物として発がん性は区分に該当しない。

・生殖毒性

: 分類できない。

・特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

: 以下の区分の特定標的臓器毒性 (単回ばく露) の物質を含む。
区分 1 (神経系、呼吸器); ホルムアルデヒド (0.1 w/w%未満)
混合物として特定標的臓器毒性 (単回ばく露) は区分に該当しない。

・特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

: 以下の区分の特定標的臓器毒性 (反復ばく露) の物質を含む。
区分 1 (呼吸器、中枢神経系); ホルムアルデヒド (0.1 w/w%未満)
混合物として特定標的臓器毒性 (反復ばく露) は区分に該当しない。

・誤えん有害性

: 分類できない

1.2. 環境影響情報

・生態毒性

: 当該物質の主な水生環境有害性 (急性) 成分
急性区分 2 ; ホルムアルデヒド (0.1 w/w%未満) を 0.1 として計算。 M : 毒性乗率
急性 3 (M×100×急性 1) + (10×急性 2) + 急性 3
= (0×100) + (0.1×10) + (0) = 1.0% < 25%
→急性 3 には区分されない。

混合物は、水生環境有害性区分外に分類される (JIS 分類による)。

当該物質の主な水生環境有害性 (慢性) 成分

慢性区分 3 ; ホルムアルデヒド (0.1 w/w%未満) 0.1 として計算。
慢性 3 (M×100×慢性 1) + (10×慢性 2) + 慢性 3
= (0×100) + (0×10) + (0.1) = 0.1% < 25%
→慢性 3 には区分されない。

混合物は、水生環境有害性は区分に該当しない。(JIS 分類による)。

・残留性・分解性

: データなし

・生体蓄積性

: データなし

・土壌中への移動性

: データなし

・オゾン層への有害性

: 分類できない

1.3. 廃棄上の注意

- ・ 残余廃棄物 : 廃棄物の処理にあたっては、該当する法規、条例、規定等に従って適切に処理すること。
- ・ 化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報 : 関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

1.4. 輸送上の注意

- ・ 海上 (I M D G)
 - 国連番号 : 非該当
 - 品名 (国連輸送名) : 非該当
 - 国連分類 : 非該当
 - 容器等級 : 非該当
- ・ 航空 (I A T A)
 - 国連番号 : 非該当
 - 品名 (国連輸送名) : 非該当
 - 国連分類 : 非該当
 - 容器等級 : 非該当
- ・ 特別の安全対策 : 運搬に際しては内容物の漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷が生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
- ・ 国内規制がある場合の規制情報 : 非該当

1.5. 適用法令

- ・ 該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報
 - 毒物及び劇物取締法 : 非該当
 - 医薬品医療機器等法 : 非該当
 - 労働安全衛生法 : 非該当
 - 化学物質排出把握管理促進法 : 非該当

1.6. その他の情報

引用文献

- 1) 14906 の化学商品 化学工業日報社 (2006)
- 2) 国際化学物質安全性カード(ICSC) 日本語版 化学工業日報社
- 3) SIDS (2002)、SIDS (2004)
- 4) EHC 89 (1989)
- 5) CERI ハザードデータ集 96-7 (1997)
- 6) CERI・NITE 有害性評価書 No. 71 (2005)
- 7) IARC (2005)
- 8) ACGIH (7th, 2001)
- 9) ECETOC TR1 (1979)
- 10) CICAD40 (2002)
- 11) PHYSPROP Database

記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成していますので、新しい知見によって改訂されることがあります。
記載の注意事項は通常の取扱いを対象とした情報提供であり、必ずしも安全性を保証するものではありません。